

## 公開保育による施設関係者評価

日時 令和8年2月12日

参加者 あさひこども園園長・職員、志津保育園職員・星の子保育園職員

公開保育のテーマ（ねらい）

- ・子どもが選び、決める保育環境の工夫
- ・コーナー保育を通した主体的な遊びの保障
- ・見通しを持って行動できる環境づくり（人数表示・空間構成）

評価

視察交流会ありがとうございました。

園全体の広さを活かし、仕切りや机の配置、コーナーごとの人数表示など、空間を機能的に活用した環境構成がなされており、子どもが見通しを持って主体的に行動できる工夫が見られた。限られた空間においても、遊びに集中できるよう配慮されている点は評価できる。

また、各クラスにトランポリンやマット等の運動スペースが確保されているほか、ミシンや木工、観察活動など多様な体験ができる環境が整備されており、日常の中で身体面・探究心の両面を育む取り組みが実践されている。

さらに、給食における主体的な関わりの工夫や、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の掲示による目標の可視化、インカムを活用した職員間の連携など、保育内容と組織運営の両面において体制が整えられている。

総じて、子ども主体の保育を支える環境と実践が体系的に整備されており、質の高い保育が行われていると評価できる。

貴重な交流会の場をありがとうございました。